

各 位

株式会社シプレクス・テクノロジー
(コード番号:4340 東証一部)

大和証券、「SPRINT」CFD 対応版導入により 大手総合証券として初となる店頭 CFD サービスを開始

～豊富な稼働実績を誇る FX システム基盤を活用し、導入期間の短縮を実現～

株式会社シプレクス・テクノロジー(本社:東京都中央区 代表取締役社長:金子英樹 以下:シプレクス)は、UMS 事業(*1)の一環として、CFD(差金決済取引)(*2)に対応したインターネット取引サービス「SPRINT(スプリント)」(*3)の提供を開始し、このたび大和証券株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:鈴木茂晴)に採用されましたので、お知らせいたします。

シプレクスは、大和証券に向けて、同社顧客(個人/法人投資家)が注文から約定までをインターネットのブラウザ経由で完結できる「SPRINT」CFD 対応版を 2009 年 10 月 30 日より提供します。なお、今回の対象銘柄は、原資産を日経 225 先物とする指数先物 CFD となります。

■ダイワ FX での実績が評価され、採用へ

大和証券では、FX(*4)で裾野の広がった個人投資家に新たな投資機会を提供し、選択の幅を広げる金融商品として、CFD の取り扱いを検討していました。その結果、2006 年 2 月より開始した「ダイワ FX(店頭 FX)」システム構築におけるシプレクスの開発実績とサービスに対する高い満足度、将来的に FX システムとの柔軟な連携が可能な点、導入期間短縮により CFD 市場への早期参入が実現できる点を評価し、「SPRINT」CFD 対応版の採用に至りました。

■FX システムで培った経験を活かし、短期間導入を実現

大手総合証券の店頭 CFD システムを 5 ヶ月で構築する難易度の高いプロジェクトであったにもかかわらず、シプレクスは、これまで数多くの FX システム構築プロジェクトで蓄積してきたシプレクス・ライブラリ(*5)と、豊富な証拠金ビジネスノウハウを最大限に活用することで、短期間導入を実現いたしました。

シプレクスでは、今後も CFD 取り扱い事業者に向けて、「SPRINT」CFD 対応版の営業を積極的に展開し、金融機関の証拠金ビジネスにおける収益力向上を引き続き支援してまいります。

株式会社シプレクス・テクノロジー (東証一部:4340 <http://www.simplex-tech.co.jp/>)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目ビルディング 15 階

■サービス導入に関するお問い合わせ先

営業担当:三木

eMail: info@simplex-tech.co.jp Tel: 03-3278-6756

■報道関係の方からのお問い合わせ先

広報/IR 担当:平田

eMail: ir@simplex-tech.co.jp Tel: 03-3278-6750

■ 拡大傾向にある国内 CFD 市場

CFD は、FX と同じ差金決済ビジネスとして、FX で裾野の広がった個人投資家に新たな投資機会を提供し、選択の幅を広げる商品として、今注目を集めている金融商品です。事実、先行して導入された英国においては、税制面での優遇が大きな要因ではあるものの、ロンドン証券取引所における売買高の約 4 割を CFD に係る取引が占めるほど急成長しています。一方、日本国内でも東京金融取引所が「新株価指数先物 CFD」の上場を予定している等、着々と市場拡大に向けての動きが始まっています。

■ 「SPRINT Basic」CFD 対応版の主な機能

「SPRINT Basic」CFD 対応版は、個人投資家向けシステム機能として、FX 対応版と同等の多彩な注文機能・チャート機能を搭載しています。さらにシンプレクスでは、個人投資家向けシステム機能に加え、大和証券が保有することになる自己ポジション管理機能や、SQ(限月清算)管理機能などを、大和証券の社内向けシステムとして提供いたします。

■ 用語解説

- *1 UMS(ユーエムエス)事業とは、「Universal Market Service(ユニバーサル・マーケット・サービス)事業」の略称です。シンプレクスが自社で企画・投資(開発・保守・運用)を行い、そのシステムをサービスとして金融機関に提供する事業であり、シンプレクスの第二次中期事業計画(2008年3月期～2012年3月期)における主要事業の1つです。サービス利用にともなう顧客の収益に連動した「成功報酬型」の課金体系を採用している点が特長です。
- *2 CFDとは、Contract for Differenceの略語であり、差金決済取引のことを指します。証拠金(保証金)を元手に、国内外の株式、指数、商品、債券など対象となる原資産の値動きを反映する金融派生商品です。
- *3 「SPRINT」(スプリント)とは、シンプレクスが金融機関にサービス提供している個人投資家向けインターネット取引サービスの総称です。「SPRINT」は CFD のほか、株式(現物・信用)、先物・オプション、FX、債券など豊富な金融商品に対応しています。また、チャネルにおいてもウェブブラウザ版からリッチクライアント版まで充実したサービスラインアップを誇ります。(リッチクライアントとは、専用のソフトウェアをダウンロードすることで、標準的なウェブアプリケーションよりも高い操作性・表現力・機能性を実現するアプリケーションの総称です)

サービス名称 対応チャネル	対応商品						
	株式 (現物・信用)	先物・ オプション	FX(外国為替証拠金取引)			債券	CFD
			OTC	くりっく365	大証FX		
SPRINT Pro スプリント・プロ リッチクライアントPC版	○	○	○	△	○	-	-
SPRINT Mobile スプリント・モバイル リッチクライアント携帯電話版	○	○	○	○	△	-	-
SPRINT Basic スプリント・ベーシック ウェブブラウザ版	△	○	○	○	○	○	●

●…本案件に該当する商品・チャネル ○…既に導入実績がある商品・チャネル △…今後対応予定の商品・チャネル

- *4 FXとは、外国為替証拠金取引のことを指します。証拠金(保証金)を元手に通貨を買い(売り)、為替が有利に変動したときに売る(買う)、為替相場の変動により生じた差額で利益を得ようとする外貨投資の一種です。
- *5 シンプレクス・ライブラリとは、一切の著作権をシンプレクスが保持することで再利用が可能となる、金融システム開発における独自のノウハウ・機能を集約した部品群(ライブラリ)のことを指します。実際に稼働しているライブラリを開発に使用することで、システムの信頼性・安定性の向上や開発期間の短縮などのメリットがあります。